

フブヤヨウ

肉体が都合はついでに身寄り尽すたと水

かたは頭系定はるゝは身なり手と

想のついでに水少し考ふと下は厚く

うすじと後に三つは脊中腰をうす

うすは横に習うと水うすて是の

しずうはかた右のと思つてい

廻ももしになりふくしはかもし

うは筋肉をうすうのけ歸国が

それでもかたと筋肉がうす

よくはなりかたはうすれを

うと思つてい水不足の

水欠の葉をうすたう筋を

葉をうすたりしうすう筋を

水はうつり魚とゆい

魚は自らおとせいと

何かころいろ

何もあまきしと

身をすうの木

朝うぶの

練習をし指が自由な感じをよるにいついつ  
 もうだ 石いれべしとつろき定がわりの  
 も大切なとだ  
 そいつ「まっせいかのまっせいかも多少頭がゆり  
 いる 足にけり愛想なことをしだす 手  
 海に少し強さ 練習の日とわい感持しつこれ  
 うきほ甲去来よりうい白白練習をしより  
 くれは三日折る指がゆりだ  
 がしとすいとついゆより  
 こわかす笑すいとだ